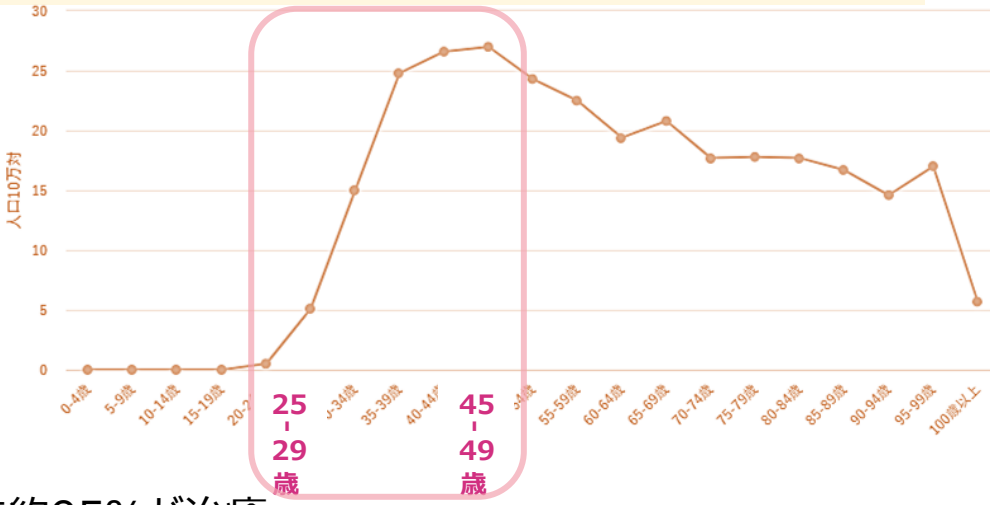
女性社員の皆さまへ（20歳以上）

20歳からの 子宮頸がん検診

早期発見が未来を変える、自分のためにできること

●子宮頸がんは、20代後半から増加。自覚症状はほとんどない

子宮頸がんは、**20代後半から増加し、40歳代で最も多くなる**がんです。
また、自覚症状はほとんどないため、定期的な検診が重要です。



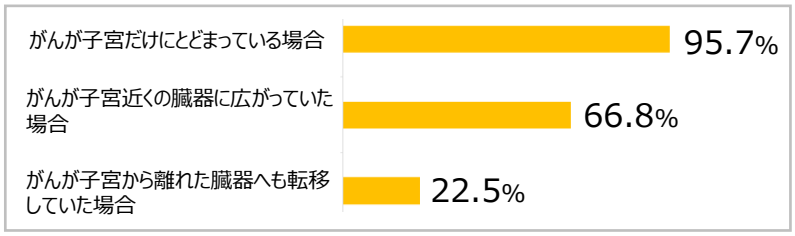
子宮頸がんの年齢階級別罹患率 ▸

参考）国立がん研究センター がん情報サービス

●早期発見・早期治療で約95%が治癒 ※

※ ここでいう「治癒」は診察時からの5年生存率です

子宮頸がんは、早期に発見できれば、治癒の可能性が高く、子宮を温存したり、身体への負担の少ない治療を選択することができます。



◂ 子宮頸がんの進行度別 5年生存率

参考）国立がん研究センター がん情報サービス

ニデック健保の 子宮頸がん検診補助金制度 ★ 無料で受診可能（全額補助）

- ▸ 対象年齢　：20歳以上（年齢基準日は年度末時点）
- ▸ 対象の検査　：子宮頸部細胞診（医師採取に限る）
- ▸ 受診方法と申請方法

国は、
2年に1回 の
子宮頸がん検診を推奨しています

健診種別	予約方法	補助金申請方法
① **施設型健診**の定期健診・人間ドックのオプションとして受診	KOSMO Webの「**予約する**」から予約	医療機関（会場）での窓口負担は **なし**
② **近隣の医療機関**で受診	受診する近隣医療機関に直接予約	マイナ保険証を使わずに受診し、医療機関の窓口で全額自己負担。KOSMO Web上で**補助金申請**すると、**検診費用全額**が指定口座に振り込まれる。※

※ 補助金申請の方法については、ニデック健保にお問い合わせください。